

令和 7 年度 毛呂山町立光山小学校 学校自己評価書

毛呂山町立光山小学校

校長 藤田 茂



1 本年度の教育活動について（総評）

教育目標 「心豊かな子 進んで学ぶ子 たくましい子」

（今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校）

経営方針 「明日の毛呂山をつくる人づくりのために」

（全教職員がよい学校を創っていきこうという共通理解で）

○どこでも誰にでも気持ちの良いあいさつ

①計画・準備・実践・反省 ②前年度からの一歩前進 ③誠実・謙虚

重点目標 「こどもを主語にした教育活動の推進」

○授業で生徒をそだてる

○すべてのこどもの学校での居場所づくり

○地域・家庭・小中連携

①学力の向上 ②校内研修の推進

本校の教育目標関連の項目評価としては、児童、保護者ともに肯定的評価が 9 割前後であり、ほとんどの児童、保護者が教育目標の副題でもある「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」であると感じている。

項目「行事が充実している」については、児童の評価において肯定的 97.8% であるのに対し、保護者の評価は肯定的 86.9% である。また、項目「教員は相談にのってくれている」については、児童の評価において肯定的 91.9% であるのに対し、保護者の評価は肯定的 82.8% である。児童と保護者に差があり、児童の大多数は満足できているものの、保護者の学校に対する要望が児童よりも高いことがわかる。

項目「あいさつができる」については、児童の評価において肯定的 83.3%、保護者の評価は肯定的 53.5% である。児童自身があいさつができていないことを自覚しているが、それ以上に保護者や地域は児童があいさつをしないと感じている。

本年度策定した教育計画については、概ね順調に実施することができた。

2 教職員及生徒、保護者等による評価結果

(1) 達成することができた項目

○生徒指導

・楽しく学校生活が送れている

○学習指導

・意欲的に授業に参加できている。わかりやすく意欲的に取り組める授業がある。

(2) 達成することができなかった項目

○生徒指導

・学校の決まりを守るなど、安全で落ち着いた学校生活が送れない。

・よくあいさつをし、正しい言葉使いで話せない。

・「早寝・早起き・朝ごはん」や夜更かしをしない等、正しい生活習慣が身につけていない。

### 3 改善策

定期的に「登校指導」と「あいさつ運動」を教員と保護者・地域が協力して行い、登校時の通学班でのマナーや保護者や交通指導員に対するあいさつを呼びかけていく。また、地域住民や地域団体の方々をゲストティーチャーや行事の来賓として学校に招き、児童との交流を通して、学校と地域が一体となって「あいさつ」ができる児童を育てていく。さらに、学校生活や学校行事をはじめ、小中一貫教育や地域学校協働活動などの取組を積極的に保護者や地域に発信していくことで、教育活動を周知するとともに、地域全体で教育活動を推進していく。